

宇都宮共和大学子ども生活学部の教育内容と特色 —子どもの発達・教育・子育て支援を学ぶ—

1. 教育課程の特色【学位：学士（子ども生活学）】

（１）４年制大学として、幅広い教養教育に注力

子ども生活学部では、４年制大学として幅広い教養教育に力を注いでいます。「**全人教育（人間形成の教育）**」の建学の精神に基づいて、基幹科目「現代の教養講座」や社会的存在としての子どもの生活を理解し、より深い洞察ができる「基礎教育科目」を始めとして、４年間でじっくり「**人間存在への深い知識と洞察力を育てる**」ことを目指しています。

（２）就職に強いカリキュラム

子どもや保育に関心のある学生に対して、**保育士資格、幼稚園教諭一種免許状**を全員が取得できるカリキュラムとなっており、**キャリア教育は１年生から始まります**。

子育て支援の仕事や、子どもに関する相談機関、福祉施設、子ども関連企業（おもちゃ、アパレル、食品、出版、スポーツ、サービス関連）等への就職の道を幅広く支援するため、多様なカリキュラムを用意しています。

（３）子どもの生活と育ちを支える専門性と人間性を備えた人材の育成

子ども生活学部では、６つの履修コースを設定しています。

また、各年次の教育目標と学生の学びと育ちを具体的に示すことで、学生自身が明確な目標とイメージを持ち、「**人間性**」「**社会性**」「**生活力**」「**使命感**」「**責任感**」「**子ども理解**」「**保育構想力**」「**保育実践力**」などを身につけ、**専門性と人間性を備えた保育者・社会人として有為な人材**となれるように学修を進めます。

〈子ども生活学部で育成する人材〉

1. 子どもと共に豊かな生活を創ることができる能力を修得している。
2. 子どもをとりまく様々な人とコミュニケーションを図りながら連携・協働する能力を修得している。
3. 子どもの成長・発達にかかわる専門性を修得している。
4. 実践力や省察する力を総合的に活用し、新たな課題にそれらを適用し解決する能力を修得している。

〈子ども生活学部の６つの履修コース〉

1. 子ども心理コース ～心理人間関係・発達心理～
2. 子ども音楽コース ～リトミック・音楽療法～
3. 子ども自然コース ～レクリエーション・野外・自然～
4. 子育て支援コース ～子育て支援・障害児保育～
5. 子どもグローバルコース ～グローバル・コミュニケーション～
6. 幼稚園・小学校教諭コース ～幼稚園教諭・小学校教諭～

〈取得できる免許・資格〉

○幼稚園教諭一種免許状・保育士

○夢をかなえるプラスの資格

准学校心理士・リトミック指導資格（１・２級）・音楽療法士２種
レクリエーションインストラクター・キャンプインストラクター
社会福祉主事任用資格

○星槎大学と提携により通信課程を利用して取得する免許・資格

小学校教諭一種免許状・特別支援学校一種免許状・AS(自閉症スペクトラム)サポーター資格・支援教育専門士資格

（４）充実した教授陣と専門教育科目

子ども生活学部は、幼稚園園長、副園長など教育・保育現場、子育て支援・心理職などの経験者・専門職者であったベテラン教員や、子ども関係の研究・教育にたずさわってきた優れた教員など、教授陣が大変充実していることが特徴です。専門科目の教育内容は、現場に即しており、就職後すぐに役立つ具体的な授業です。幼児体育、リトミック、図画工作などの授業は特に、学生の興味と関心に応えています。また、短大音楽科の教員との連携も強く、音楽教育の環境にも優れ、ピアノ初心者も弾き歌いの確かな力をつけています。

２．子ども生活学部卒業生の進路

（１）長年の実績が豊富で有利

これまで就職率の高い実績があり、県内の幼稚園、認定こども園、保育所（園）、児童福祉施設、企業等に100%就職しています。特に、毎年、公務員として採用され、2020年度は鹿沼市に一般職として、栃木市保育所に保育士として、2021年度は宇都宮市保育所に保育士として、2022年度は鹿沼市・宇都宮市に保育士としてそれぞれ1名採用されました。本学部の学生は、たくさんの資格取得に加え、地域貢献活動のボランティアへの参加など、4年間で高度な知識・技術・実践力が培われていると、地元の幼児教育・保育・福祉の現場から高い評価をいただいています。

（２）旺盛な求人が続く保育就職市場

県内の幼稚園、認定こども園、保育所（園）の中には、4年制大学卒を採用する園が増えています。待機児童解消のため、認定こども園や保育園が増設されており、県内・首都圏では質の高い保育士の需要は極めて高い状況です。幼稚園教諭一種免許状が取得できるので、幼稚園長、認定こども園長、保育所（園）長、などの管理者、経営者への道も開かれています。短大を卒業した後、幼稚園教諭一種免許状取得やリトミック指導員等の資格を得るために、（3年次）編入をしてくる学生もいます。

３．学生生活、サークル活動

学生が自主的に運営するサークル活動のほか、保育に関係するボランティア活動が活発です。子育て支援研究センターの事業（下記４）に参加して子どもと触れ合い体験し、保育を学んでいます。また、地域の企業（栃木トヨタ自動車）と連携した地域コミュニティ施設（ミナテラスとちぎ）でのイベントや各地の子育て広場や幼稚園・認定こども園・保育書（園）等の夏祭りのボランティアなど、県内各地での活動に参加する学生がたくさんいます。在学中から子どもとのかかわりを持つ環境があり、体験的に子どもとのかかわりや保育を学ぶ機会を多く持つことができます。

ラクロス



軽 音



サークル活動

4. 子育て支援研究センターの社会貢献活動

- ① 「公開講座」として、2022 年度は、「乳幼児期の保育の質の重要性」をテーマに開催しました。コロナ禍においても対面講座やオンライン講座を実施し、多くの卒業生や地域の保育従事者の参加者を得ることができました。



深谷 ベルタ氏（千葉明德短期大学特任教授）



汐見 和恵氏（家族・保育デザイン研究所所長）

- ② 「地域の就学前施設との交流」を授業に位置づけ、学生は子ども達との触れ合いを通して遊びや保育を体験し、学びを深めています。市内の幼稚園の園児と一緒に学内の広い芝生のグラウンドで走り回ったり、子どもの森では動植物を観察したり、アリーナでは運動遊びやその他多くの遊びを楽しんでいます。



アリーナでの交流保育の様子



学内の子どもの森教室での保育交流の様子

- ③ 「障がいのある子どもと家族の支援」(TINY)は、障がいのある子どもと家族を応援する活動で、定期的に実施しています。多くの学生や卒業生がボランティアで参加し、親・子・学生・教員が共に育ちあう実践活動の場となっています。栃木県の2019 年度「輝くとちぎづくり表彰」で最優秀賞、2022 年度宇都宮市「市民憲章賞」を受賞しました。



「市民憲章」受賞を喜ぶ学生ボランティア



保育実習室での活動の様子

- ④「親子遊びの会」は、就学前の乳幼児を持つ親同士のネットワーク作りや子ども同士の繋がりや遊びの広がりを目指した子育て支援活動を行い、学生の学びの場ともなっています。2022年度は大学コンソーシアムとちぎ「学生・企業研究発表会」で「鹿沼総合信用金庫理事長賞」、栃木県青少年県民会議から「優良青少年団体」を受賞しました。



「優良青少年団体」受賞を喜ぶ学生ボランティア



「ミナテラスとちぎ」での活動の様子

- ⑤「自然遊びの会バーベナ」は、毎年、宇都宮市の「みやの環境創造提案実践事業」に応募・採択いただいています。宇都宮市の環境課題解決のための提案を行い、私たちが開催している行事は「生物多様性の理解と周知」を目的としています。本事業は市の環境基本計画の中の成果の一部として取り上げていただいています。



「こんな虫いたよ」 11月の活動の様子



「葉っぱのせいくらべ」11月の活動の様子

- ⑥リカレント教育として、卒業生を対象にした支援活動を展開し、卒業生と教員との交流を通して、学び合いの場となっています。



保育制作技術研修



幼児体育・コミュニケーションワーク研修

子ども生活学部の社会貢献活動は、子育て支援研究センターの「研究センター年報」に公表しています。